

2009 年夏、スマートフォン戦線異状あり！？ iPhone を猛追するドコモ

<http://kakaku.com/trendnews/>

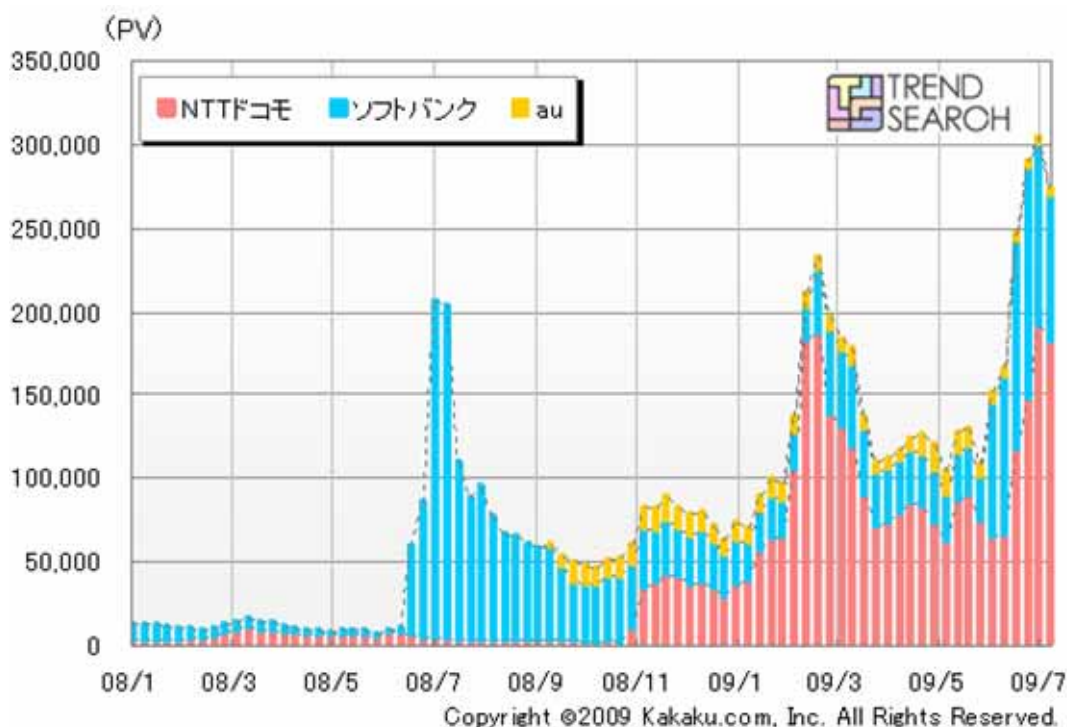
月間約 1900 万人が利用する購買支援サイト『価格.com』に蓄積される、アクセスデータや価格情報などを集計・分析した、レポートサイト『Trend News : <http://kakaku.com/trendnews/>』より、価格.com トレンドニュースとして、不定期でお届けします。
今回は、近ごろ注目を集めているスマートフォンについて、各社製品へのユーザー動向やトレンドをレポートします。

注目度が高まるスマートフォン。ユーザーの話題シェアにも変化

「スマートフォン」というジャンルの携帯電話が近ごろ注目を集めている。スマートフォンの定義づけには各種あるが、ここでは「パソコンと同様のインターネットブラウジングとメール送受信が行える携帯電話」という意味で用い、アップルの「iPhone」や、マイクロソフトが進める「Windows Mobile」搭載製品、欧米で人気の「BlackBerry」や、最近登場した「グーグル携帯」などもこれに含むものとする。いずれも、3 インチを超えるような大型液晶とパソコン用のインターネットサイトを表示できる「フルブラウザ」を搭載し、インターネットブラウジングがスムーズに行えるとともに、パソコン用のメールアドレスでのメール送受信が行えるのが特徴だ。なお、ここでは、i モードに対応する NTT ドコモの「SH-04A」もスマートフォンとして含んでいる。

これらスマートフォン製品全体の価格.com 上での PV 推移を示したのが図 1 だ。ちょうど 1 年前となる 2008 年の 7 月より注目度が上がり、その後いったん沈静化したものの、2009 年 3 月に再びピークを迎え、さらに直近の 2009 年 7 月ではさらに注目度が上がっている。いくつかの山を越えながら、スマートフォンの人気は確実に高まっているといえることができるだろう。

【図 1 スマートフォンのキャリア別 PV 数推移】



なかでも注目したいのは、そのキャリア別の注目度の変化だ。2008 年 7 月～11 月くらいまでは、ほぼソフトバンクのみが PV を独占しているが、これは昨年 7 月に発売された「iPhone 3G」の人気を示している。

しかし、その後の 2008 年末以降、ソフトバンクに代わって注目を集めるようになったのが NTT ドコモだ。「iPhone 3G」の投入でスマートフォン市場で先行したソフトバンクに対し、NTT ドコモは 2008 年 8 月に欧米で人気を集める RIM 社の「BlackBerry 8707h」を法人向けサービスとして提供し始めるが、この時点ではあまり注目を集めなかった。

しかし、2008 年 11 月にシャープから和製スマートフォンともいべき「AQUOS ケータイ SH-04A」が発表されたことや、2008 年 11 月～12 月にかけて HTC 社製の「Touch Diamond/PRO」こと「HT-01A/02A」が発売されたことによって、価格.com 上のクチコミなどでもドコモのスマートフォンが人気を集め始める。

さらに、2009 年 2 月には、話題となっていた「SH-04A」が発売となったほか、「BlackBerry」の最新モデル「BlackBerry Bold」が発売となったことで一気にスマートフォン人気が加速。

「BlackBerry Bold」に関しては、一時期製品発売中止になるなどのトラブルもあったが、逆に注目度は高まる結果となり、6 月に入るくらいまでこの人気は続くことになる。その後、6 月に発売された東芝製の「T-01A」と、7 月に発売された「グーグル携帯」こと「HT-03A」の投入によって、さらにドコモのスマートフォンの人気は加熱してきている状態だ。

ソフトバンクも「iPhone 3G」の改良版である「iPhone 3GS」を 6 月に発売し周知のとおり人気を得ているが、価格.com 上でのユーザー動向を見る限り、NTT ドコモのスマートフォン製品もそれに負けじと話題を集めてきている。

人気製品「iPhone 3GS」の後を追いかける「T-01A」「HT-03A」などのドコモ勢

このように、国内市場におけるスマートフォンの流れは、これまで、ソフトバンクモバイルが発売するアップルの「iPhone 3G/GS」が流れを大きく牽引してきたが、ここへ来て、ラインアップを多くそろえる NTT ドコモ勢も大きく注目されてきている。なお、現在発売されているスマートフォンの主要な製品と OS、キャリアとの関係を示すと、図 2 のようになる。

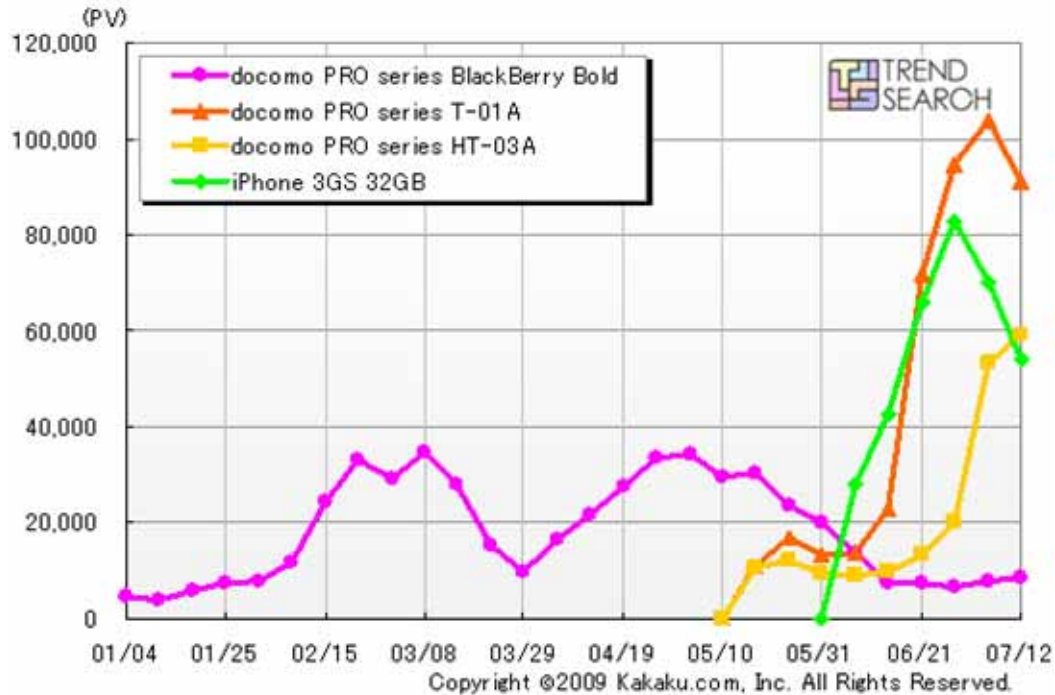
【図 2 スマートフォン主要製品の OS とキャリア】

OS名	製品名	キャリア名
iPhone OS (アップル)	iPhone 3G/GS	ソフトバンク
Windows Mobile (マイクロソフト)	T-01A	NTTドコモ
	HT-01A/02A	NTTドコモ
	X01/02	ソフトバンク
BlackBerry OS (RIM)	BlackBerry Bold	NTTドコモ
Android OS (Google)	HT-03A	NTTドコモ
Symbian OS (Symbian)	SH-04A	NTTドコモ

このように、Windows Mobile のような一部例外はあるものの、「iPhone 3G/GS」を擁するソフトバンクを包囲するような形で、NTT ドコモがその他の主要なスマートフォン OS をすべて押さえている。スマートフォンの実売数からすれば、今でも「iPhone 3G/GS」が圧倒的であり、その他のスマートフォンは影が薄い印象があるが、この 7 月のアクセス状況を見る限り、NTT ドコモ勢、特に Windows Mobile 機としては爆発的な注目を集めている「T-01A」(東芝製)と、まったく新しい OS「Android」を搭載した「グーグル携帯」こと「HT-03A」(HTC 製)の人气が、アップルの「iPhone 3GS」を超えてきていることがわかる(図 3)。

これまで「iPhone 3G」のような高機能なスマートフォンを使いたければ、キャリアを乗り換えるか、買い増しを行うしか方法がなかったドコモユーザーにとって、「iPhone 3G」とほぼ同等の機能を持つ「T-01A」や「HT-03A」のようなスマートフォン製品が登場したことが、大いに歓迎すべきトピックとなっている様子が見えてくる。

【図3 スマートフォン4機種種のPV推移】



総論 2009年夏、スマートフォン市場で巻き返しを図るドコモ勢

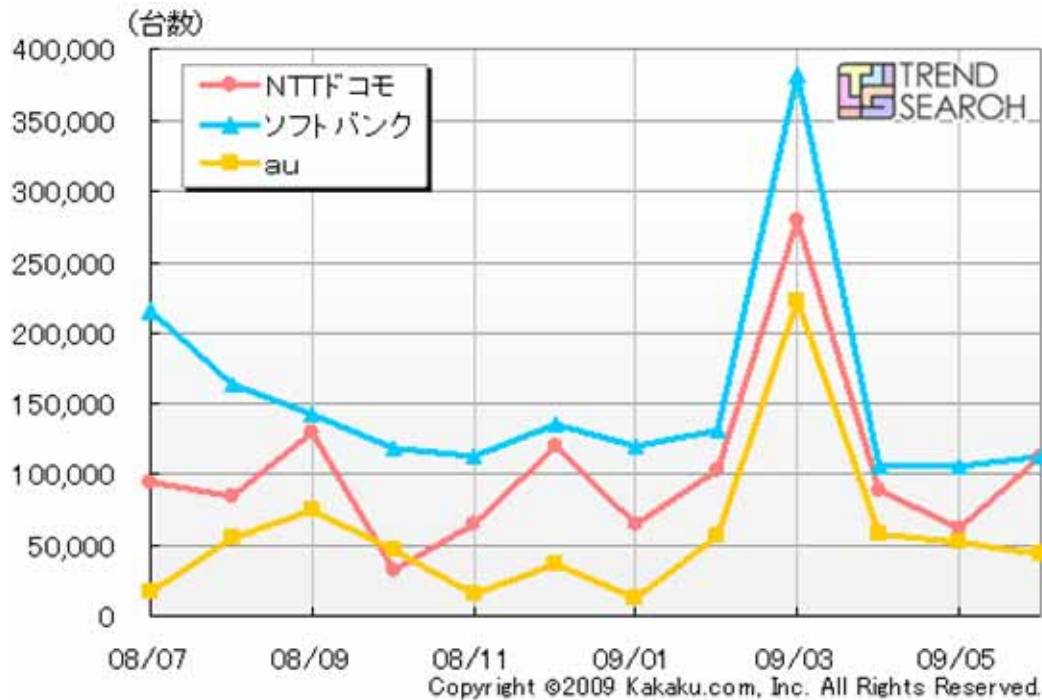
以上のように、スマートフォンの分野でその存在感を示しつつある NTT ドコモだが、その流れと呼応するように、携帯電話全体の契約数も順調に伸びてきている。価格.com の携帯電話カテゴリにおける最新の PV ランキング (図4) でも、上位 10 製品のうち、実に 6 製品が NTT ドコモの製品で占められており、うち上位 2 製品はスマートフォンとなっている状況だ。スマートフォン以外にも、主力の FOMA モデルである「F-09A」「SH-06A」「P-08A」といった製品が軒並みベスト 10 にランクインしており、この夏のドコモ携帯はかなり好調にアクセス数を伸ばしている。

【図4 携帯電話カテゴリ 製品別 PV 数ランキング (2009/7/12 週)】

順位	製品名
1	docomo PRO series T-01A
2	docomo PRO series HT-03A
3	iPhone 3GS 32GB
4	biblio
5	docomo PRIME series F-09A
6	docomo PRIME series SH-06A
7	docomo STYLE series P-08A
8	iida G9
9	iPhone 3GS 16GB
10	docomo PRO series SH-04A

社団法人電気通信事業者協会が発表している各携帯キャリア別の月別契約台数の推移 (図5) でも、2009年6月には、ここしばらく契約の純増数では首位を独走していたソフトバンクに対し、NTT ドコモがわずか 500 件差にまで迫ってきている。6月には話題の「iPhone 3GS」が発売され、ソフトバンクの端末自体は好調であったはずだが、それを猛追するかのように NTT ドコモの契約も純増している結果となっている。

【図5 キャリア別 携帯電話の契約台数（純増数）の推移】



[出展：社団法人電気通信事業者協会]

もちろんこの夏のNTTドコモの躍進に対するスマートフォンの影響は微々たるものであろうが、一般のFOMAケータイが好調なNTTドコモが、スマートフォン市場でもユーザーの心をつかんできたということは非常に興味深い。ここ1年ほどはやや「なりふりかまわず」といった感じで、iPhone以外のスマートフォンを次々に市場に送り出してきたNTTドコモだが、ここへ来て、iPhoneに匹敵するしっかりした性能を持った製品が登場したことが大きな追い風となっている。もはや一般のケータイやスマートフォンの域を超え、その多彩なアプリでも人気となっている「iPhone 3GS」の人気の非常に強いものがあるが、NTTドコモが新たに市場に投入したこれら新型のスマートフォンが、先行するiPhoneをどこまで追撃できるか、今後も目が離せない。

過去のアーカイブはこちらから。

<http://kakaku.com/trendnews/>

【Trend News について】

購買における国内最大級の比較検討メディアである『価格.com』に蓄積される膨大な各種データを独自分析することで、消費者が製品やサービス購買に至るまでの“比較検討段階”の最新動向を把握することが可能になると考え、『Trend News』を開始しました。

今後も引き続き、サイトに蓄積されたアクセスデータや価格情報などを集計・分析し、消費者の最新動向をニュース形式でお届けします。

【価格.com データ】(2009年6月末現在)

月間利用者 1,883 万人、月間ページビュー 6 億 9,028 万 PV、累計クチコミ件数約 980 万件。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社カカコム 広報担当：甲斐 内山

Tel：03-5805-7511 mailto：pr@kakaku.com